

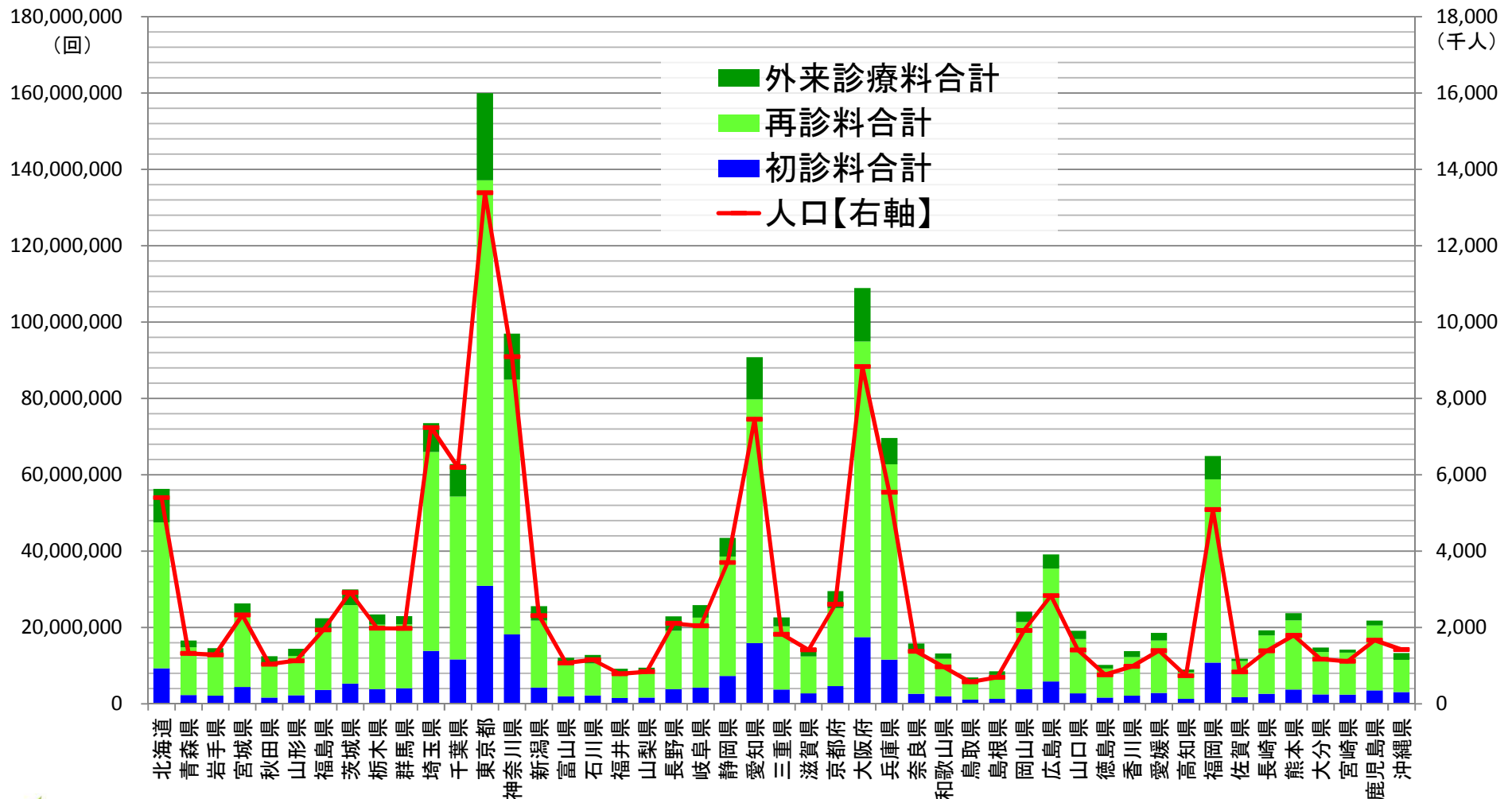
都道府県別「初・再診料・外来診療料」算定回数

H26年度 厚生労働省NDBオープンデータを基に作成(集計単位が10未満となる場合0としてカウント)

http://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/minutes/2016/1125/shiryo_05-2.pdf

- 初診料・再診料・外来診療料の算定回数は都道府県人口とほぼ比例している。東京都、大阪府、愛知県、福岡県、広島県などは人口割合よりも多くなっている

人口は総務省統計局H26年10月1日現在を使用、NDBは医療機関所在地、人口は居住地であることに留意

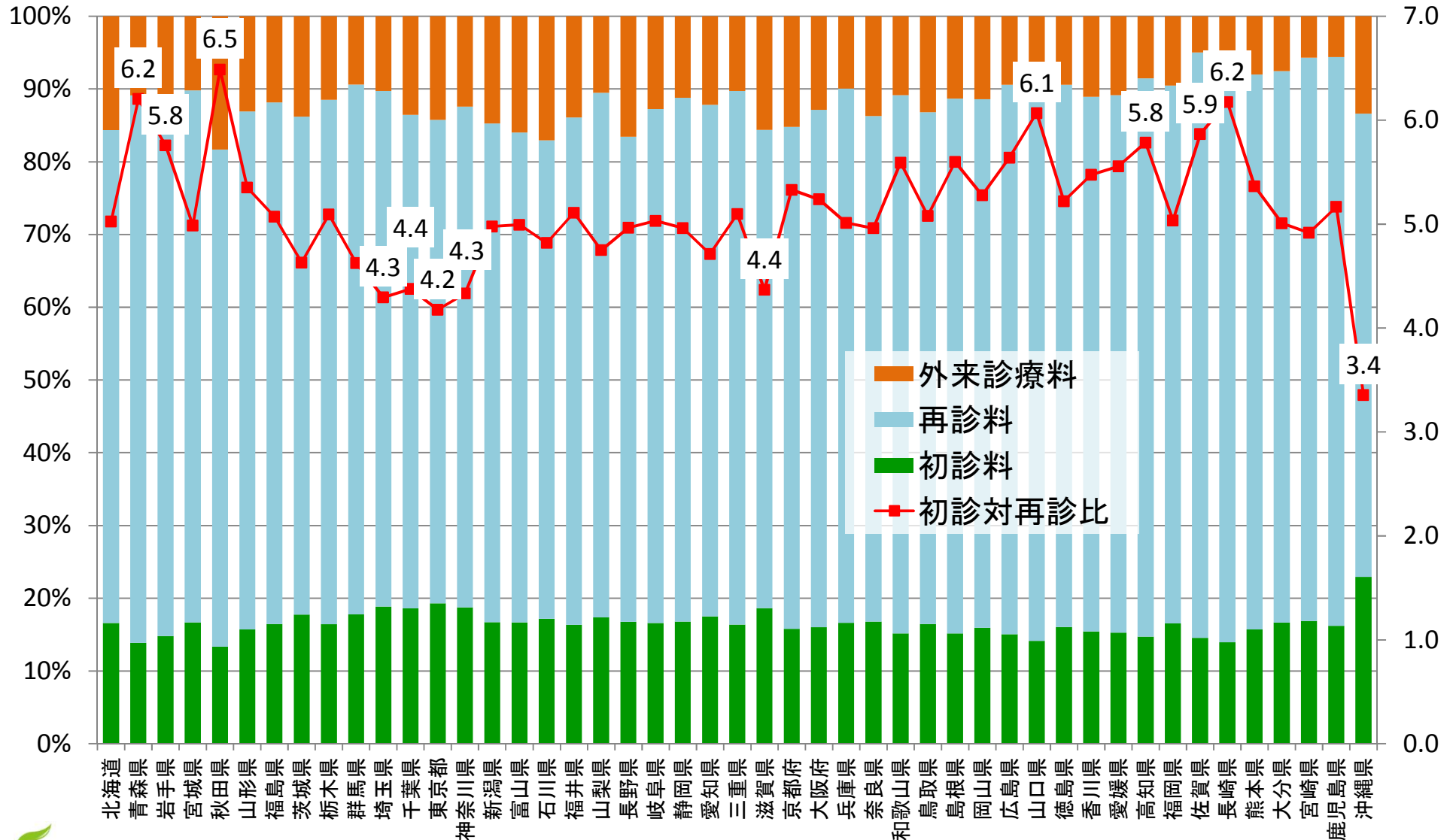


都道府県別「初・再診料、外来診療料」算定割合及び初・再診比

H26年度 厚生労働省NDBオープンデータを基に作成(集計単位が10未満となる場合0としてカウント)

http://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/minutes/2016/1125/shiryo_05-2.pdf

初診料の算定回数と再診料(外来診療料を含む)の算定回数の比率は都道府県で1.91倍の差が生じている



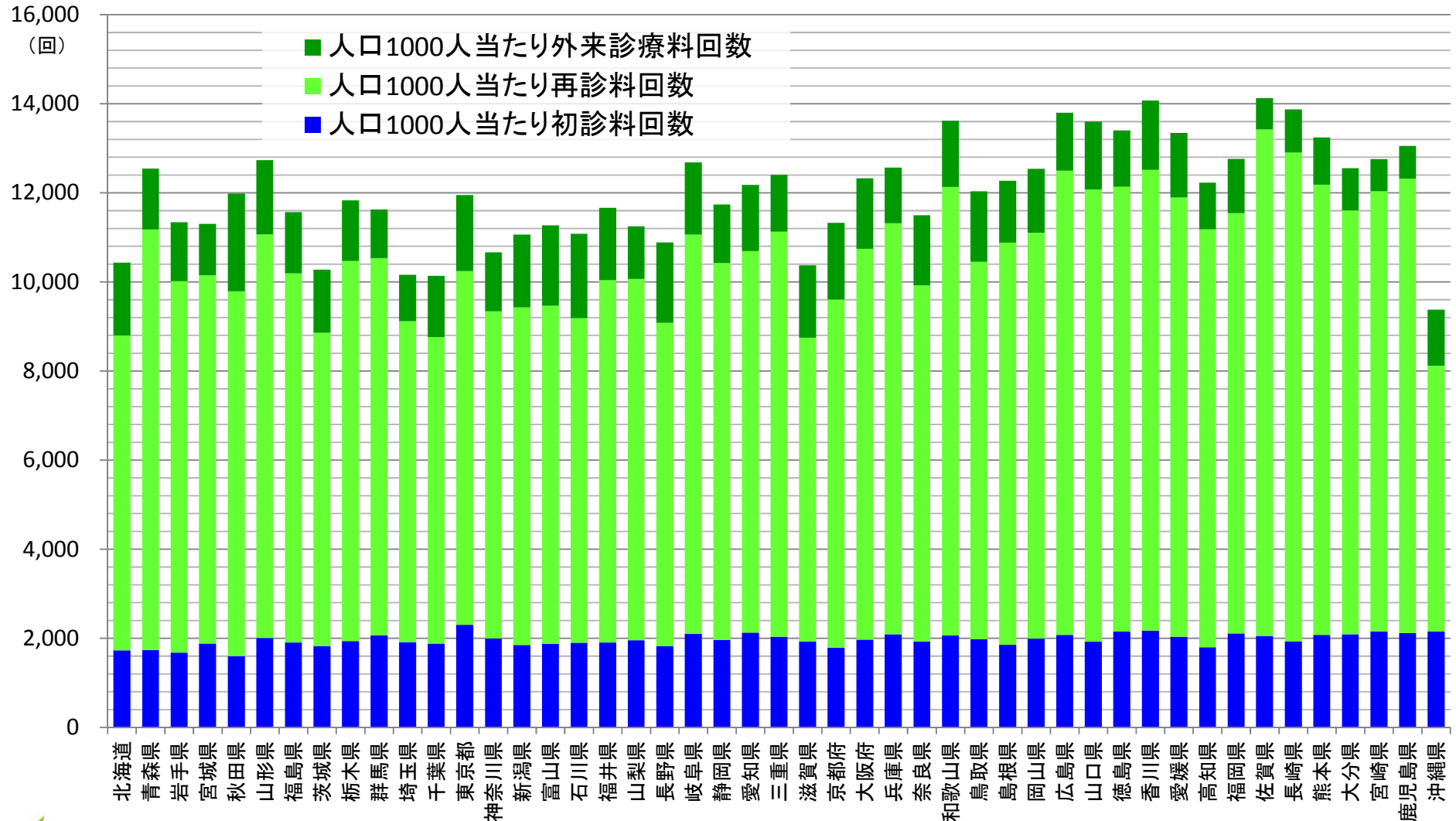
都道府県別「初・再診料、外来診療料」人口1000人当たり算定回数

H26年度 厚生労働省NDBオープンデータを基に作成(集計単位が10未満となる場合0としてカウント)

http://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/minutes/2016/1125/shiryo_05-2.pdf

人口は総務省統計局 H26年10月1日現在を使用、NDBは医療機関所在地、人口は居住地であることに留意

人口1000人当たりの初診料算定回数はバラツキが少ないものの、再診料及び外来診療料はバラツキが大きい



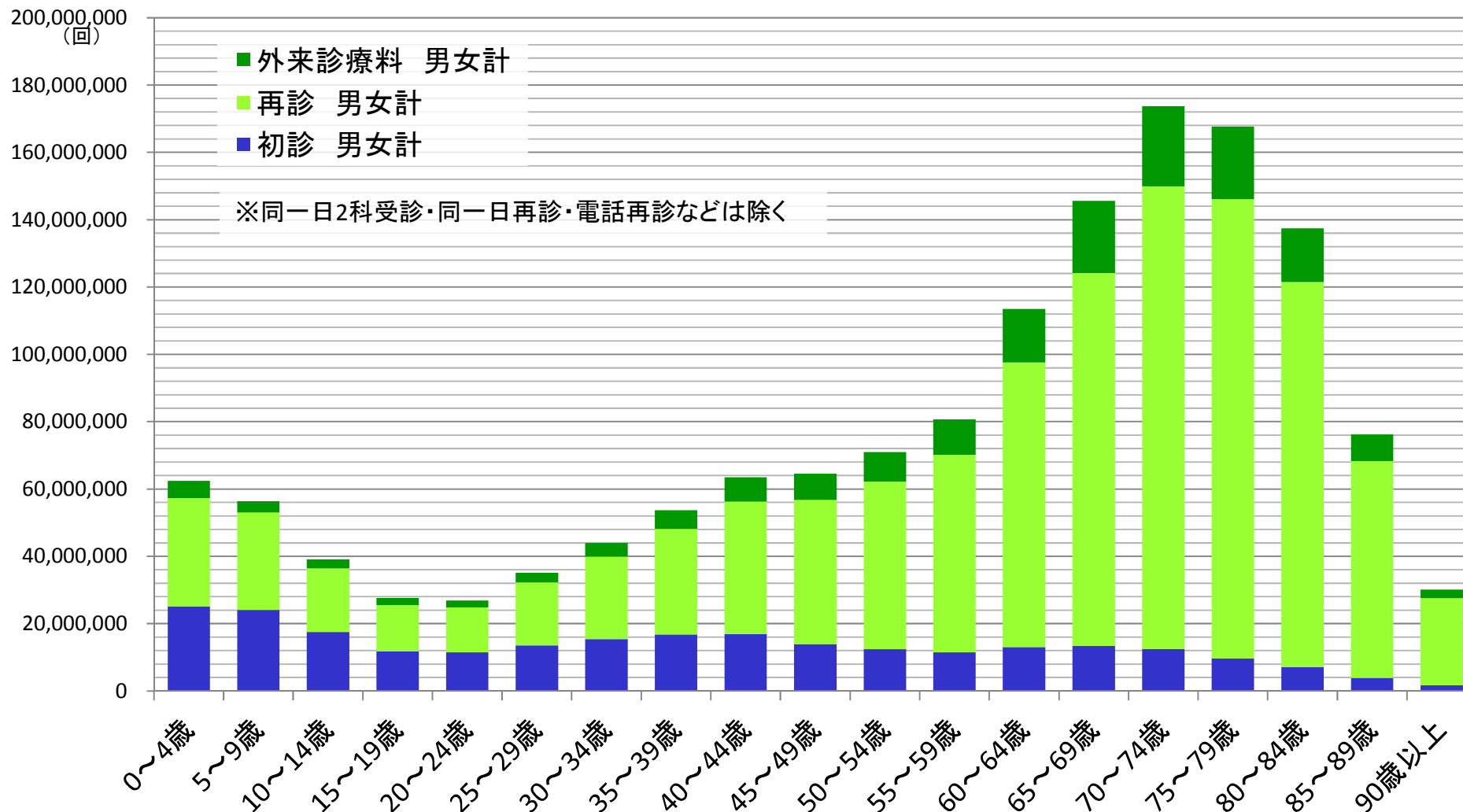
年齢階級別「初・再診料、外来診療料」算定回数

H26年度 厚生労働省NDBオープンデータを基に作成(集計単位が10未満となる場合0としてカウント)

http://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/minutes/2016/1125/shiryo_05-2.pdf

人口は総務省統計局 H26年10月1日現在を使用、NDBは医療機関所在地、人口は居住地であることに留意

初再診の回数は70-74歳が最も多い。初診料、再診料、外来診療料ともに85歳以降急速に減少している。



年齢階級別「初・再診料、外来診療料」人口1000人当たり算定回数

H26年度 厚生労働省NDBオープンデータを基に作成(集計単位が10未満となる場合0としてカウント)

http://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/minutes/2016/1125/shiryo_05-2.pdf

人口は総務省統計局 H26年10月1日現在を使用、NDBは医療機関所在地、人口は居住地であることに留意

初再診全体は20-24歳で最も減少、その後80-84歳まで緩やかに増加。初診料は年齢が増すごとに減少。
65-69歳以降外来診療料の増加が顕著となる。初・再診(外来診療料含む)比率は加齢とともに再診割合が増加する。

